



社会福祉法人 恩賜財団 済生会鹿児島病院



「広報誌」

済生かごしま

SAISEI KAGOSHIMA

〒892-0834 鹿児島市南林寺町1-11 ☎099-223-0101 FAX 099-227-4790

URL: <http://www.saiseikai-kagoshima.jp> E-mail: info@saiseikai-kagoshima.jp

今月の表紙



自由に持ち帰り下さい

「いざ行かん、雪見に転ぶ、所まで」 撮影:中間

診療時間のご案内

●受付時間 (月曜日～土曜日)

午前8時30分～午前11時45分 / 午後1時15分～午後4時50分

●診察時間 (月曜日～土曜日)

午前8時45分～午後0時15分 / 午後1時15分～午後5時00分

▶ 当院では各々の専門認定医による下記の専門外来も行っております。

腎臓専門外来	肝臓専門外来
循環器専門外来	消化器専門外来

※人間ドック随時
受付しております。

交通のご案内

●市電 新屋敷電停から徒歩5分・天文館電停から徒歩10分

●市営バス (13番線) 松原小学校前バス停から徒歩1分
がんがら橋バス停から徒歩1分



No. 19

如月.2012

発行/済生会鹿児島病院

❖ 新年のご挨拶 済生会鹿児島病院 院長 中矢 晴雄

新年明けましておめでとうございます。

平成23年3月11日東日本大震災が発生。巨大津波が東北地方を飲み込み、福島原子力発電所が破壊されました。その後数日間のテレビ映像では想像を超える津波の威力。被災地はまるで爆撃後のような状況でした。私の兄は原発からはやや離れていますが福島県会津若松在住です。その日は電話も通じず、翌日大阪の母より無事の連絡が入りました。自身の意思に関係なく一瞬のうちに人生を変えられる。この震災で、私も考え方や価値観が大きく変わりました。日本国内では将来にも影響する年金や税の問題が依然残っています。国外に眼を向けますと、ギリシャや他のユーロ圏の国債問題・アラブの春・アメリカでは富の分配のデモ・絶対的権力者の死亡など我々に多大なる影響を与える諸問題が渦巻いています。

もはや戦後ではないと言われた時期を経て国家の経済力は成長を続けていきましたが、現在は明るい展望が見えてこないと思っている人が多いと思われれます。これに対して我々は何をすべきかと考えても、答えは簡単には出ません。出来ることは組織（病院）と家庭の安定と円滑化に努力する事としか言えません。

話題を変えますが、最近済生会として重点的に取り組んでいるのは「法令遵守」です。理解が困難な言葉です。簡単に説明しますと、企業として、また人として単に法律を守るだけでなく、各種の規則を守り、倫理上でもそれ以上のことを求めていく事です。最近では有名大企業が粉飾決算やトップが公私混同しての賭博への流用などが報道されています。

私ども本来の仕事である医療では、済生会の基本理念に沿って、より良き医療を提供することが最大の責務です。当院は内科の単科病院であり、最先端の医療が可能な病院ではありません。そのため、外科など他病院との連携や介護福祉施設との連携も欠かせないものとなっています。この連携も法令遵守の一つです。勿論法令遵守の対象は患者さんだけでなく出入り業者との関係や当院職員に働きやすい場を提供することなど多岐にわたっています。まだまだ努力しなければならない事も多いと考えています。私ども一同頑張っ参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

特集 知っていますか？ウイルス性肝炎

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルスに感染して肝臓の細胞が壊れていく病気です。この病気になると、徐々に肝臓の機能が失われていき、ついには肝硬変や肝がんに至ることもあります。B型及びC型肝炎ウイルスの患者・感染者は、合わせて300万人を超していると推定され、国内最大級の感染症とも言われています。

ウイルスの感染時期が明確でないことや肝炎の自覚症状がないことが多いため、適切な時期に治療を受ける機会がなく、本人が気づかぬうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多く存在することが問題となっています。しかし、肝炎ウイルスに感染していても、適切な健康管理・治療で、肝炎から肝がんへ悪化するのを予防することが可能です。肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液検査で判断できます。（感染後は3カ月ほどたないと、陽性にならないこともあります。）

平成23年10月から平成24年3月31日までの間、40才から70才までの5才刻みの年齢の方には、鹿児島市の保健所から、「肝炎ウイルス検診受診のご案内」が送付されています。この受診券を窓口にお持ちいただければ、無料で肝炎ウイルスの検査を受けることができます。この機会にぜひ、肝炎ウイルス検査をお勧めします。



もし、肝炎ウイルスに感染していたら？

当院にご相談ください。場合によっては、高額なインターフェロン等による治療が必要がありますが、国や県では平成27年3月31までの間「B型又はC型肝炎のインターフェロン治療」及び「B型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療」に係る医療費について、世帯の所得に応じ、1年から1年6カ月を限度として月当たりの負担額を原則1万円（高所得者層は2万円）とする医療費の助成を行っています。医療費助成の申請については当院でもご相談いただけます。（肥後）

透析患者さんと交流を通して

管理栄養士 平 ゆかり

鹿児島県腎臓病患者連絡協議会青年部主催の透析セミナーで料理教室を行いました。テーマはクリスマスメニューということで主食からデザートを含めて4品を作り食事療法を交えながら、出来上がった食事を楽しみ座談会まで行いました。透析患者さんとそのご家族を含めて、定員15名での料理教室でしたが、皆さん生活スタイルは違いますが一人ひとりの方が工夫しながら食事療法を上手に取り入れていらっしゃるようでした。食事療法について指導させて頂く機会が多いのですが、実際に料理をしながら、患者さんの食事療法の行い方を実際に拝見することも出来ましたので栄養士としても食事療法をいかに生活に取り入れていくことが大変なことなのかということも分かりましたが、食事への関心が大きいこと、皆さんが前向きに食事療法を取り入れていることがわかりとても嬉しく思いました。



食事を楽しみながら、患者さんの食事管理の工夫している点など聞き交流を深めることが出来たことはとても良かったと思います。

塩分やカリウム・水分制限等がある中で、患者さんと一緒におもてなし料理を作り、楽しい、有意義な時間を過ごせたと思います。

当院では、腎臓病・肝臓病・糖尿病・高血圧など食事指導を行っております。栄養士として少しでも患者さんの生活スタイルに合った食事療法をこれからお話をさせて頂き患者さんの食事管理のお手伝いのできたらと感じます。



研修報告

平成23年度済生会学会に参加させて頂きました。10年という当院での勤務を続けてこられたこと。愛情と厳しさを持って御指導して下さった方々に感謝の気持ちで一杯です。毎日の仕事に真剣に取り組むことの楽しさを教えて下さった、上司との出会いは看護師として人として掛けがえのないものとなりました。これからも体の続く限り当院で働けるように、頑張っていきます。

～上床 明子～